MWE 2023ワード原稿テンプレート (タイトル)

－サブタイトル－

MWE 2023 Word Template (Title)

－Subtitle－

電波 花子† 舞黒 太郎‡ 美里 次郎‡

Hanako DENPA† Taro MAIKURO‡ and Jiro MIRI‡

†千三大学工学部　‡眉鍔株式会社開発部

概要

MWE 2023ワークショップダイジェストの１ページ目は、和文／英文タイトル、著者名、所属先に続いて、和文概要、英文概要をご記入ください。和文概要には、講演内容を示す象徴的な図面を掲載していただきますようお願いいたします。必要であれば、数式の記載も可能といたします。同一図面や数式を、本文中に再掲してもかまいません。本文中に再掲する場合、概要中の図面等には番号をふらないでください。

また、和文概要に続いて、80ワード以下の英文概要を記載してください。和文概要の内容が全て記載されていなくてもかまいません。

MWEのWebページ、MWEのフェイスブック等SNS、htmlメールでの広報用材料として、1ページ目をそのまま使用させていただきます。あらかじめご了承ください。もし不都合などありましたら、原稿提出時にお申し出ください。

本文は、2ページ目から2段組でご執筆ください。

図　○○方式回路構成　　　　　　　　　　　　図○○特性の測定結果

**Abstract**

MWE (Microwave Workshops and Exhibition) 2023 provides a word template file for a manuscript of the Microwave Workshop Digest. The abstract less than 80 words should be written in English.

For novice microwave engineers 5 tutorials will be held, while eminent researchers will present their work on cutting-edge technologies at the 17 scheduled technical sessions and 3 special sessions in five different rooms. Some exhibitors of the exhibition will also conduct technical seminars to highlight their products.

1. はじめに

MWE 2023は、ダウンロード書籍として出版いたします。原稿が不適当であるとダイジェスト作成に支障を来しますので、必ずこの執筆要領をよくお読みになった上で原稿の執筆をお願いいたします。電子原稿はpdfファイルをE-mail添付で、著作権譲渡同意書はWEBサイトから登録しご提出ください。

1. 使用言語

* 基調講演、ワークショップ、特別セッションは英語または日本語

（ただし、英語セッションでは必ず英語）

* 基礎講座、入門講座、超入門講座は日本語
* 日本語で原稿を執筆する場合、題目、著者名、勤務先は日本語と英語を併記し、英文アブストラクトを付けてください。

1. 原稿枚数
2. 基調講演： 偶数4枚以内（英語または日本語）
3. ワークショップ、特別セッション、入門講座： 偶数4枚以内（英語または日本語）
4. 基礎講座： 偶数10枚以内（日本語）
5. 書き方
6. 用紙はA4サイズとしてください。
7. 余白は以下を目安としてください。

・上端　30mm、下端　20mm、左右　20mm

1. 原稿は黒字で作成してください。
2. 文字の大きさは，大体の目安として、

* 表題：16ポイント
* 著者名・勤務先：10.5ポイント
* 本文：10.5ポイント

1. 表題は大文字で左右中央に配置してください。著者名、勤務先は表題の下に左右中央に配置してください。
2. ワークショップ、パネルセッションおよび基礎講座には、abstract を英語80語以内でお書きください。その際、著者名、勤務先の下に左右中央に配置してください。
3. 図・表には図・表番号 (Fig. 1 etc. ) および説明文を図の下・表の上に書いてください。
4. 参考文献は、本文の末尾に本文に続けて記入してください。参考文献の記入方法は本文末尾を参考にしてください。
5. 電子原稿

ワークショップダイジェスト収録のための原稿は、

MWE 2023 Webページ http://www.apmc-mwe.org/ の著者の皆様へ－To all the speakers－経由にて「著者の登録 および 著作権譲渡同意書の作成」を入力された後、E-mail添付(mwe2023@apmc-conf.org )にてお送りください。

なお、下記にお願いしますフォントやファイル形式の制限は、ダイジェスト編集時に発生する問題をなくし、より品質の高いものに仕上げるためのものですので、ご理解とご協力をお願いします。

ファイル形式はPDF (Adobe Acrobat)といたします。PDFファイルを作成する際に、フォント埋め込みを忘れると表示できない場合がありますので注意して下さい。投稿に関するWebサイトは8月20日頃公開予定です。

1. 英語原稿において、本文で用いるフォントは、Windowsの場合Times New Romanを、Macintoshの場合Timesを使用してください。図表には、Windowsの場合ArialもしくはTimes New Romanを、またMacintoshの場合HelveticaもしくはTimesをそれぞれ使用してください。なお、ギリシア文字などの記号についてのフォントはSymbolの使用をお願いします。特に、英語原稿の場合、英語版Adobe Readerでは日本語フォントは文字化けして読めません。
2. 日本語原稿において、本文で用いるフォントについては、Windowsの場合はMS明朝を，Macintoshの場合、平成明朝を使用してください。また、図表にはWindowsの場合MSゴシックもしくはMS明朝を、Macintoshの場合、Osaka、平成角ゴシックもしくは平成明朝の使用をお願いいたします。
3. ファイル名は、セッション番号、講演番号および氏名が一目で確認できるように以下の例を参考に命名してください。

例：11月29日（水曜日）のRoom1の午後のセッションの1番目の講演者が電波太郎の場合  
WE1B-1 (Denpa).pdf

1. ファイルの大きさは極力1MB以下としてください。
2. 著作権譲渡

「著者の登録 および 著作権譲渡同意書の作成」に必要事項を記入し送信ください。また、写し(pdf版)が必要な方は、電子原稿受付担当：矢崎(E-mail: [mwe2023@apmc-conf.org](mailto:mwe2023@apmc-conf.org))までE-mailにてご依頼ください。

※著作権譲渡同意書の作成(著者登録)は、http://www.apmc-mwe.orgの"著者の皆様へ"のボタンから登録ページに入り作成いただけます。

1. 提出物

電子原稿1部（PDF形式）と著者登録および著作権譲渡同意書（WEBサイト上から登録）

1. 提出締切

* 電子原稿（mwe2023@apmc-conf.org へ E-mail添付で）：

**9月1日必着**

* 著者登録および著作権譲渡同意書の登録

（WEBサイト上から登録）：

**9月1日必着**

1. 講演設備

講演会場では、PCと液晶プロジェクターをご用意しております。講演当日はUSBメモリ等でプレゼンテーションデータのみをお持ちいただいても、ご自身のPCをご持参・ご使用いただいても、どちらでも結構です。

1. 注意事項

**電子原稿は、来年度MWE 2024の実施準備時期にWebにて公開する場合がありますので、予めご承知おきください**。

不明な点は下記問合せ先まで電子メールにてお願いいたします。

1. 問合先
   1. 電子原稿の送付先および問合せ先

MWE 2023電子原稿受付担当：矢崎

E-mail: mwe2023@apmc-conf.org

* 1. その他全般の問い合わせ先

MWE 2023事務局

　　(株)リアルコミュニケーションズ

　　E-mail: aizawa@apmc-mwe.org

**文 献**

1. (雑誌の場合) 著者名，“標題，”雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年.
2. (雑誌例1) 山上一郎，山下二郎，“パラメトリック増幅器，”信学論(B), vol.J62-B, no.1, pp.20-27, Jan.1979.
3. (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
4. (著書，編書の場合) 著者名，書名，編者名，発行所，発行都市名，発行年．
5. (著書，編書例1) 山田太郎，移動通信，木村次郎（編），pp.21-41,（社）電子情報通信学会，東京，1989．
6. (著書，編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
7. (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題，”書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名，発行年．
8. (著書の一部引用例1) 山田太郎，“周波数の有効利用，”移動通信，木村次郎（編），pp.21-41，（社）電子情報通信学会，1989．
9. (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratlliff, Inhibitoryinteraction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
10. (国際会議の場合) 著者名，“表題，”会議名，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，都市名，国名，月（英語）年．
11. (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, “Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission, ” Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.
12. (国内大会，研究会論文集の場合) 著者名，“標題，”学会論文集名，分冊または号，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，月（英語）年．
13. (国内大会，研究会論文集例) 川上三郎，川口四郎，“紫外域半導体レーザ，”1995信学全大，分冊2,no.SB2-1,pp.20-21,Sept.1995.

**著者紹介**

電波 花子　千三大学工学部　教授，hanako@senmitsu.ac.jp

舞黒 太郎　千三大学工学部　准教授，taro@senmitsu.ac.jp

美里 次郎　眉鍔株式会社開発部　主任研究員，jiro@doubt.co.jp